

羽生 SP 首位

宇野3位 ファイギュア男子

平昌冬季五輪第8日の16日、ファイギュアスケート男子シヨートプログラム(SP)が江陵アイスアリーナであった。五輪男子で66年ぶりの連覇を狙う羽生結弦(ANA)が自身の持つSP世界歴代最高得点(112.72点)に迫る111.68点で首位に立った。宇野昌磨(トヨタ自動車)は104.17点で3位につけ、田中刑事(倉敷芸術科学大大学院)は80.05点で20位。17日にフリーがある。昨年11月に右足首を痛めてから

初の演技となる羽生は最終グループの最初、25番目に登場。冒頭の4回転ジャンプなどを次々と成功させ、ノーミスの完璧な演技をみせた。団体のSPに続いての登場だった宇野も団体SP(103.25点)を上回る得点を出した。メダルを争うハビエル・フェルナンデス(スペイン)が107.58点で2位、金博洋(中)は103.32点で4位、ドミトリー・アリエフ(OAR)が98.98点で5位につけた。



男子SPの演技をする羽生結弦



演技をする宇野昌磨=いずれも白井伸洋撮影

朝日新聞

ご購入のお申し込みは

0120-33-0843

朝日新聞 サブスク オペレーター

インターネットで

http://www.asahi33.com/

アサヒがサンサン ドットコム

携帯で



朝日新聞

DIGITAL

速報も詳報も

デジタル版で

>>> お申し込み・詳細は、

朝日新聞デジタル 検索



朝日新聞



Japanese Paralympic Committee

JOC・JPC オフィシャル新聞パートナー

がんばれ!ニッポン!

朝日新聞は、平昌2018冬季オリンピック・パラリンピック
日本代表選手団を応援しています。